

牧師所感： 3.1 1 東日本大震災と六本木男声合唱団

3.1 1 東日本大震災の惨禍を 全世界の人々は、誰 1 人忘れる人はおられないであろう。地震によって起きた津波によって、夥しい人々が犠牲になった。然らば 犠牲になられた家庭で 孤児遺児が残された。

この惨状に心を痛めた 東京六本木男声合唱団 三枝 成彰団長の発案で、作家の 林 真理子（女流作家で 団と関係あり）氏と協議の上、 “3.1 1塾” を 社団法人として発足させた。それ以来 震災孤児遺児を助ける為に、ジャンルを越えた音楽界の指導者諸氏と協議の上、毎年 3.1 1 の日に 全音楽界による音楽会を開催して、その収益金を孤児遺児の教育費として、彼等を支えて今日に到る。さて 今年はサントリーホールで、第 11 回目の音楽会として開催した。入場料は 1 人 1 万円で、観客のみでなく、団員も 1 人 1 万円を払って 参加したのである。

さて 音楽会の最後の演奏が終わった時を持って、収益金の発表がなされる。時は 19：30、収益金は 21,260,363（入場者 1 万人以上）円であった（例年の収益金 約 3 千万円）。

筆者も 第 1 回目からずっと参加して来た。筆者は維持会員である。

3. 1 1. 塾

2011 年 3 月 11 日の東日本大震災は約 240 人の孤児、約 2000 人の遺児を生み出す甚大な被害をもたらしました。親を失ったことで夢を諦めなくてはならない子どもを一人でも少なくできたらという思いから、2011 年 4 月のサントリーホールでのチャリティコンサート「全音楽界による音楽会」に参加した有志を核に、専門家やサポーターのネットワークを生かし、子どもたちに一人ひとりの状況や必要に応じたカスタムメイドの支援を提供できないかと考えました。半年の準備期間を経て 2011 年 10 月、三枝成彰を会長、林真理子を会長代行として一般社団法人 3.1 1 震災孤児遺児文化・スポーツ支援機構（3.1 1 塾）が発足されました。そして 2015 年 10 月、公益社団法人と認定されました。

ご支援のお願い

当支援機構の趣旨を理解いただき、ご支援いただく寄附者、

賛助会員、サポーター会員（3.1 1 エンジェル）を広く募集しております。

どうぞ皆さまのあたたかいご支援でひとりでも多くの子どもが

夢を実現できますようご協力をお願い申し上げます。

尚、事務所経費、広報活動費等の経費は最小限におさえ、

支援活動に携わる協力者はすべてボランティアで参加しています。

公益社団法人 3.1 1 震災孤児遺児文化・スポーツ支援機構（3.1 1 塾）

代表理事 三枝 成彰 代表理事 林 真理子

— 次回に続く —